

下水道ビジョン2100

下水道の使命と役割

持続可能な循環型社会の構築により、
「美しく良好な環境」、「安全な暮らし」と「活力ある社会」
を実現する

下水道の使命を実現するための施策の考え方

20世紀型下水道

●下水道の普及拡大に重点

- ・汚水の効率的な「排除・処理」による公衆衛生・生活環境の向上
- ・雨水の速やかな「排除」による浸水対策

住民にわかりやすい情報発信と住民との対話

21世紀型下水道

●健全な水・資源循環を創出

- ・「排除・処理」から「活用・再生」への転換により、美しく良好な環境の形成並びに安全な暮らしと活力のある社会を実現

下水道から「循環のみち」への転換

〈基本コンセプト〉 循環のみち

— 地域の持続的な発展を支える21世紀型下水道の実現 —

これまでの下水道機能に加え、持続可能な循環型社会の構築を図るため、**健全な水循環及び資源循環**を創出する新たな下水道を目指します。

「循環のみち」実現のための3つの方針

〈基本方針〉 水のみち

水が本来有する様々な機能を活かす水循環の健全化に向け、水再生・利活用ネットワークを創出します。

〈基本方針〉 資源のみち

将来の資源枯渇への対応や、地球温暖化の防止等に向け、資源回収・供給ネットワークを創出します。

〈基本方針〉 施設再生

「水のみち」、「資源のみち」の実現を支え、新たな社会ニーズに応える、サステナブル下水道を実現します。

「循環のみち」を実現するための施策体系

— 地域の持続的な発展を支える21世紀型下水道の実現 —

〈基本コンセプト〉

循環のみち

これまでの下水道機能に加え、持続可能な循環型社会の構築を図るため、健全な水循環及び資源循環を創出する新たな下水道を目指します。

〈基本方針〉 水のみち

雨水の浸透や再生水・湧水等の積極的活用による、水利用の自立性向上や水縁コミュニティの創出、生態系の再生などの水が本来有する様々な機能を活かす水循環の健全化に向け、水再生・利活用ネットワークを創出します。

〈施策展開上の考え方〉

- ① 雨水・再生水・湧水等の100%活用
- ② 活用の視点からの施設配置
- ③ 活用に繋がる施設構造

活かす水のみち

- ➡ 近自然の水流復活・再生
- ➡ 水質の保全（広域的かつ効率的な高度処理の展開等）
- ➡ 地域の水利用の自立性向上（処理場の名称変更等）

優しい水のみち

- ➡ 人に優しい水環境の創出（親水、福祉空間等の創出）
- ➡ 潤いのある水縁空間の創出（ヒートアイランド対策等）
- ➡ 水縁コミュニティの創出（住民参加・環境教育等）

衛る水のみち

- ➡ 公衆衛生の向上（人の健康や生態系へのリスク低減）
- ➡ 新たな浸水対策の展開（増加する集中豪雨への対応）
- ➡ 雨水・再生水・湧水等の地域防災への活用
- ➡ 地域の自然生態系の保全・再生

〈基本方針〉 資源のみち

将来の資源枯渇に対応するため、下水道施設の省エネルギーや、自然エネルギー等の活用の促進と、地域への様々な資源・エネルギーの供給により、地球温暖化の防止等にも貢献する資源回収・供給ネットワークを創出します。

〈施策展開上の考え方〉

- ① 処理場のエネルギー100%自立
- ② 新エネルギー等活用のトップランナー
- ③ 地域へのエネルギーの積極供給

自立する資源のみち

- ➡ 下水道施設の省エネルギー化の促進
- ➡ バイオマス・自然エネルギーの処理場内での活用

活かす資源のみち

- ➡ 下水汚泥の有効利用の多様化・効率化の促進
- ➡ リン等の希少資源の回収・活用
- ➡ 下水道による都市排熱の回収・活用
- ➡ 下水道を核とする地域エネルギー供給システムの構築

優しい資源のみち

- 温室効果ガスの削減
- ➡ 下水道から発生する温室効果ガスと消費電力の削減
- ➡ バイオマス（下水汚泥等）・下水熱のエネルギー利用
- ➡ 消化ガスの車社会への供給

〈基本方針〉 施設再生

新規整備と改築更新、維持管理を一体的に捉え、「水のみち」、「資源のみち」を支えるとともに、従来機能の維持に加え、ライフラインとしての安全確保や機能の高度化等により、新たな社会ニーズに応えるサステナブル下水道を実現します。

〈施策展開上の考え方〉

- ① 「発生対応型」から「予防保全型」への転換
- ② 社会的ニーズに対応した機能の高度化
- ③ 計画の一体化による事業マネジメント

安全確保

- ➡ 事故の未然防止対策の推進
- ➡ 地震対策（住民の視点からの「防災」と「減災」）
- ➡ 防災機能の強化（下水道施設の防災拠点化等）

施設活用

- ➡ 施設空間の多目的利用（既存ストックの多機能利用）
- ➡ 地域情報化（管渠・マンホール等による情報網の構築）

機能向上

- ➡ 機能維持・更新の効率化（増加する改築の効率化等）
- ➡ 下水道マネジメント（アセットマネジメントの導入等）